

資料 1

大島海洋国際高校の教育理念等の検討及び最終案

「学科改編検討委員会報告書(平成17年6月)」での理念等	第一回検討委員会における各委員の主な意見	教育理念等案	第二回検討委員会における各委員の主な意見	検討委員会を踏まえた作業部会での検討	教育理念等の最終案
<p><b>【学科改編の方向性における観点】</b> 「海を通して世界を知る」</p>	<p>○現在の海洋系は、何となく将来像が分かるが、国際系は不明確で分かりにくい</p>	<p><b>【教育理念(案)】</b> ・海洋環境、海洋資源の保全と活用への高い意識と実践力を育成することで、海洋に関する地球規模での課題に果敢に取り組み解決していく、国際的に活躍する海洋人材を育成する</p>	<p>○学校でどんな生徒を育成していきたいのか、そのためにどのような教育を行うのかといった考え方を整理し、生徒や保護者などに端的な内容で伝えるべき。また、その内容を誰にでも分かりやすい文章で整理すべき</p>	<p>○教育理念を普遍の目的としたうえで、その目的を達成するための具体的な目標を設定するという体系に整理・統一</p>	<p><b>【教育理念(最終案)】</b> <b>「海に学び、未来を拓く。」</b></p>
<p><b>【取組のための基本的な考え方】</b> ・海洋教育と全寮制を通じた国際社会に貢献できる自律と責任感の育成 ・実習船を活用した国際交流や留学生の受け入れによる国際的視野の醸成 ・産学公地連携を通じたグローバルな課題への挑戦 ・日本人としてのアイデンティティの確立、世界に通用するコミュニケーション能力、英語教育の充実 ・大学との連携及び四年制大学進学のための指導体制</p>	<p>○学校での学習と寄宿舎での宅習をリンクさせた、より効果の高い活動を推進すべき</p> <p>○乗船実習では、生徒が何を目的に乗船し何を求めるのか、それらをまとめ、発表するなどにより進路につなげることも必要</p> <p>○寄宿舎でも生徒がグループを組み、理念に沿った課題研究などを実施すべきではないか</p> <p>○保護者の立場では、寄宿舎や大島丸による乗船実習には非常に関心が高く、また、様々な海洋系スポーツや部活動、自然など、大島ならではの経験は、生徒にとっては非常に良い影響</p> <p>○海洋系大学と連携しながら高校教育を実践することで、一人でも多くの生徒が海洋に対する興味を深め、海洋課題の解決に資する人材に育ってくれることを期待</p> <p>○進路などから、海洋系は明確な目的意識を持ち海洋系の進路に進むが、国際系は目指すキャリアが明確でないことから学びを進路に生かしていないのではないかと。そうした意味からも教育理念を明確にすべきである</p> <p>○我が国における海洋の重要性を正しく理解できる人材の育成が急務であり、現在、学校が掲げている「海を通して世界を知る」ということを教育理念にも色濃く反映させたい。そのため、海洋環境、海洋資源の保全と活用について関心を持ち、地球規模での課題に取り組む力の育成という趣旨の理念を加え、現在求められている海洋人材を育成する学校として教育活動を実施する必要。こうした考えの下、教育課程を編成し大島丸を活用していくべき</p>	<p><b>【スローガン(案)】</b> 「海を通して世界を知る」 ※教育理念を端的に示したもの。海洋教育を通して国際的に通用する海洋人材を育成するという趣旨</p>	<p>○誰もが理解でき、具体的な学校像が描けて、海洋と国際という考えが包含されるようなものとするべき</p> <p>○教育理念は、未来に向けて広い世界に向かっていくというイメージにすべき</p> <p>○入学してくる生徒に、学校がどのような期待をしているのかということが分かるようにすべき</p> <p>○海などをフィールドとして世界で活躍していく生徒を育成するというのが分かるようにすべき</p> <p>○受検生、生徒や保護者などに大島海洋国際高校がどのような生徒を育成していくのか、そのために何をしていくのか、それを具体的に実現するためにどのような学科でどのような教育をしていくのかといったことを体系的に整理する必要</p> <p>○教育理念を達成するために具体的にどういったことをしていくのかということを教育目標として設定すべき</p> <p>○教育理念の下、どのような教育を実施すべきかを普通教科と専門教科で考え、一つの体として連携して実施すべき</p> <p>○教育目標の5つの原案に加えて、大島のみならず、東京や我が国が擁する離島や地域の振興にも寄与するということを盛り込むべき</p> <p>○海洋を通じた国際的な教育については、全ての教育活動の基本として実施すべき</p> <p>○そうしたことから、全ての教育活動に関わる内容として国際的なことを実施していくということが分かるよう、教育目標に盛り込むべき</p> <p>○教育目標の設定に当たっては、記載や表現による違いをなくし、目標としてふさわしいものとする必要</p>	<p>○教育理念について、「海を通して世界を知る」であると、最後が知るだけでも見える。国際的な海洋の舞台上で活躍する生徒を育成していくという理念を明確にするための意味が入った文言に修正した案を示す(以下、案) 「海に学び、未来を拓く。」 「海に学び、海と生きる。」 「海に学び、世界に羽ばたく。」などの案を検討 ⇒様々な世界で活躍するというイメージから「海に学び、未来を拓く。」としてはどうかとのまとめ</p> <p>○委員からも指摘があったとおり、教育理念を誰にでも分かりやすく説明するという意味では、難しい表現を極力使用せずに、大島海洋国際高校が持つ魅力や特長を生かして、将来のキャリアである、世界の海洋を舞台上で活躍する海洋人材を育成する学校であるということを十分に記載、説明する必要</p> <p>○教育理念案を再提案した上で、教育理念案に込める具体的な考え方を、生徒や保護者などに分かりやすく訴えかけるような表現に修正し、教育理念の説明文として併せて提案する</p> <p>○また、教職員が自信と誇りを持って教育を実践するということを表現する</p> <p>○原案の教育目標に加え、委員から指摘があった、地域や、我が国の離島の振興に資する教育を実践していくことや、国際社会で活躍できるような教育をベースとして実践することについて、教育目標に追加する</p> <p>○教育目標としてふさわしいものとするよう、表現を統一して表記する</p>	<p>&lt;教育理念(最終案)に込める意味の説明文(案)&gt; ・本校は、生徒を、「海洋に対する真摯な姿勢と態度を常に持ち続け、「誠実・礼節・協力」の精神の下、豊かさや幸福を世界にもたらし続ける広大な海洋を舞台上で活躍する」よう育成していきます</p> <p>・具体的には、「海洋の保全、海洋の活用への高い意識と実践力を育成することで、海洋に関する地球規模での課題に果敢に取り組み、解決する、様々な世界で活躍する海洋人材」を育成します</p> <p>・そのため、生徒、教職員はもちろん、保護者の皆さま、地域の方々、本校に協力してくださる大学や機関、産業界の皆さまといった、本校に関係する全ての学校コミュニティが、世界中に広がる海洋に関して、「海を愛し、海を敬い、海から学ぶ」という考えを共有し、活動しなければなりません</p> <p>・そして、大島海洋国際高校の教職員は、本校の教職員であることへの自覚と誇りを持ち、教育理念と、校訓となっている「誠実・礼節・協力」という精神を常に念頭におき、教育理念を達成するための7つの教育目標を着実に実践していきます</p>
<p><b>【学校像】</b> ①海洋教育と全寮制を通し、次代を担う国際感覚豊かな、たくましい人間を育成する学校 ②「海を通して世界を知る」新しい海洋国際教育により、「人と文化の共生」「地球環境保全」「個性ある地域の創造」等の課題解決に貢献できる人材を育成する学校 ③自国や地域の文化・歴史・伝統に対する深い理解と誇り及び他国の歴史・文化・伝統を理解し、これを尊重する態度を育成する学校 ④4年制大学に塾や予備校に通わなくても、現役で進学できる指導体制を持つ学校 ⑤東京海洋大学等との高大連携校として「学術アドバイザー制度」を設置し、最新の研究成果に基づく、質の高い教育内容を提供する学校 ⑥環太平洋の国際交流の拠点として東京・大島と世界を結びつける役割を果たせる学校 ⑦小中学生の心に「海へのあこがれ」を醸成し、将来の海洋の担い手の育成に寄与する学校</p>	<p>○我が国における海洋の重要性を正しく理解できる人材の育成が急務であり、現在、学校が掲げている「海を通して世界を知る」ということを教育理念にも色濃く反映させたい。そのため、海洋環境、海洋資源の保全と活用について関心を持ち、地球規模での課題に取り組む力の育成という趣旨の理念を加え、現在求められている海洋人材を育成する学校として教育活動を実施する必要。こうした考えの下、教育課程を編成し大島丸を活用していくべき</p>	<p><b>【教育目標(案)】</b> ・海洋教育と寄宿舎教育を通して、自然に対する「謙虚さ」「勇気・決断力」を養い、「誠実・礼節・協力」の精神を育て、自律した責任感ある人格の形成を目指す</p> <p>・海洋という自然、実習船「大島丸」、寄宿舎といった大島海洋国際高校ならではの魅力と特長を、最大限に活用した教育を実践する</p> <p>・地域、産業、大学等と連携することで、海洋に関する多様で幅広い内容について課題探究的な教育を実践する</p> <p>・学校教育と寄宿舎教育が連携し、学力の定着・向上を図るとともに、思考力・判断力・表現力を養う</p> <p>・カリキュラム・マネジメントにより、専門教科と普通教科が連携した教科横断的な学びを推進する</p>	<p>○教育理念を達成するために具体的にどういったことをしていくのかということを教育目標として設定すべき</p> <p>○教育理念の下、どのような教育を実施すべきかを普通教科と専門教科で考え、一つの体として連携して実施すべき</p> <p>○教育目標の5つの原案に加えて、大島のみならず、東京や我が国が擁する離島や地域の振興にも寄与するということを盛り込むべき</p> <p>○海洋を通じた国際的な教育については、全ての教育活動の基本として実施すべき</p> <p>○そうしたことから、全ての教育活動に関わる内容として国際的なことを実施していくということが分かるよう、教育目標に盛り込むべき</p> <p>○教育目標の設定に当たっては、記載や表現による違いをなくし、目標としてふさわしいものとする必要</p>	<p>○また、教職員が自信と誇りを持って教育を実践するということを表現する</p> <p>○原案の教育目標に加え、委員から指摘があった、地域や、我が国の離島の振興に資する教育を実践していくことや、国際社会で活躍できるような教育をベースとして実践することについて、教育目標に追加する</p> <p>○教育目標としてふさわしいものとするよう、表現を統一して表記する</p>	<p><b>【教育目標(最終案)】</b> 教育理念の達成に向け、7つの教育目標を実践</p> <p>・海洋教育と寄宿舎教育を通して、自然に対する「謙虚さ」「勇気・決断力」を養い、「誠実・礼節・協力」の精神を育て、自律した責任感ある人格を形成する教育を実践</p> <p>・海洋という自然、実習船「大島丸」、寄宿舎といった大島海洋国際高校ならではの魅力と特長を、最大限に活用した教育を実践</p> <p>・地域、産業、大学等と連携することで、海洋に関する多様で幅広い内容について課題探究的な教育を実践</p> <p>・学校教育と寄宿舎教育とを相互に連携させた教育を実践</p> <p>・カリキュラム・マネジメントの不断の実践により、専門教科と普通教科が連携した教科横断的な教育を時代に即した内容により実践</p> <p>・大島をはじめとする伊豆諸島や小笠原諸島、東京港などの港湾、我が国が有する多くの離島の振興に幅広く貢献する人材を育成するための海洋教育を実践</p> <p>・地域はもとより、世界の海洋に関わる人々と協働していくことができる人材を育成していくことを、教育活動の基本として実践</p>
<p><b>【育てたい生徒像】</b> ①21世紀の国際社会の課題を把握し、これに貢献しようとする自律性、責任感のある高い志を持つ真の国際人としての生徒 ②日本の歴史・文化・伝統に対する深い理解と誇りを持ち、他国の歴史・文化・伝統を尊重する態度を持つ生徒 ③国際社会に通用するコミュニケーション能力をきちんと身に付けた生徒 ④人間・社会・自然に対する探究心を持ち、より高度な学問に挑もうとする志を持つ意欲ある生徒 ⑤グローバルな視点から地域社会の課題を発見し、これに積極的に関わる生徒</p>	<p>○我が国における海洋の重要性を正しく理解できる人材の育成が急務であり、現在、学校が掲げている「海を通して世界を知る」ということを教育理念にも色濃く反映させたい。そのため、海洋環境、海洋資源の保全と活用について関心を持ち、地球規模での課題に取り組む力の育成という趣旨の理念を加え、現在求められている海洋人材を育成する学校として教育活動を実施する必要。こうした考えの下、教育課程を編成し大島丸を活用していくべき</p>	<p>・カリキュラム・マネジメントにより、専門教科と普通教科が連携した教科横断的な学びを推進する</p>	<p>○教育目標としてふさわしいものとするよう、表現を統一して表記する</p>	<p>○教育目標としてふさわしいものとするよう、表現を統一して表記する</p>	<p>・地域はもとより、世界の海洋に関わる人々と協働していくことができる人材を育成していくことを、教育活動の基本として実践</p>
<p><b>【教育理念】</b> ①海洋教育・全寮制を通して、自然に対する「謙虚さ」「勇気・決断力」を養い、「誠実・礼節・協力」の精神を育て、国際社会に通用する自律した責任感ある人格を形成する ②日本の歴史、文化、伝統に対する深い理解と誇りを持つとともに、多様な異文化を尊重する国際人としての姿勢・態度を育てる ③コミュニケーション能力や英語力を培い、国際社会で活躍できる能力を育てる ④確かな学力を身に付けさせ、自らの進路実現に向けて高い志を持ち、果敢に挑戦する態度・能力を育てる ⑤グローバルな視点で常に地域や社会の課題をとらえ、その課題解決に向けて積極的に関わろうとする実践的態度を育てる</p>	<p>○我が国における海洋の重要性を正しく理解できる人材の育成が急務であり、現在、学校が掲げている「海を通して世界を知る」ということを教育理念にも色濃く反映させたい。そのため、海洋環境、海洋資源の保全と活用について関心を持ち、地球規模での課題に取り組む力の育成という趣旨の理念を加え、現在求められている海洋人材を育成する学校として教育活動を実施する必要。こうした考えの下、教育課程を編成し大島丸を活用していくべき</p>	<p>・カリキュラム・マネジメントにより、専門教科と普通教科が連携した教科横断的な学びを推進する</p>	<p>○教育目標としてふさわしいものとするよう、表現を統一して表記する</p>	<p>○教育目標としてふさわしいものとするよう、表現を統一して表記する</p>	<p>・地域はもとより、世界の海洋に関わる人々と協働していくことができる人材を育成していくことを、教育活動の基本として実践</p>